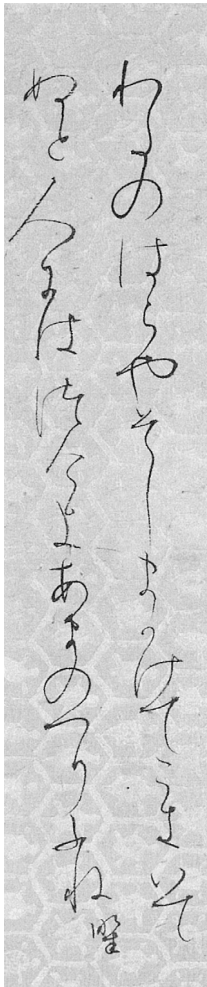
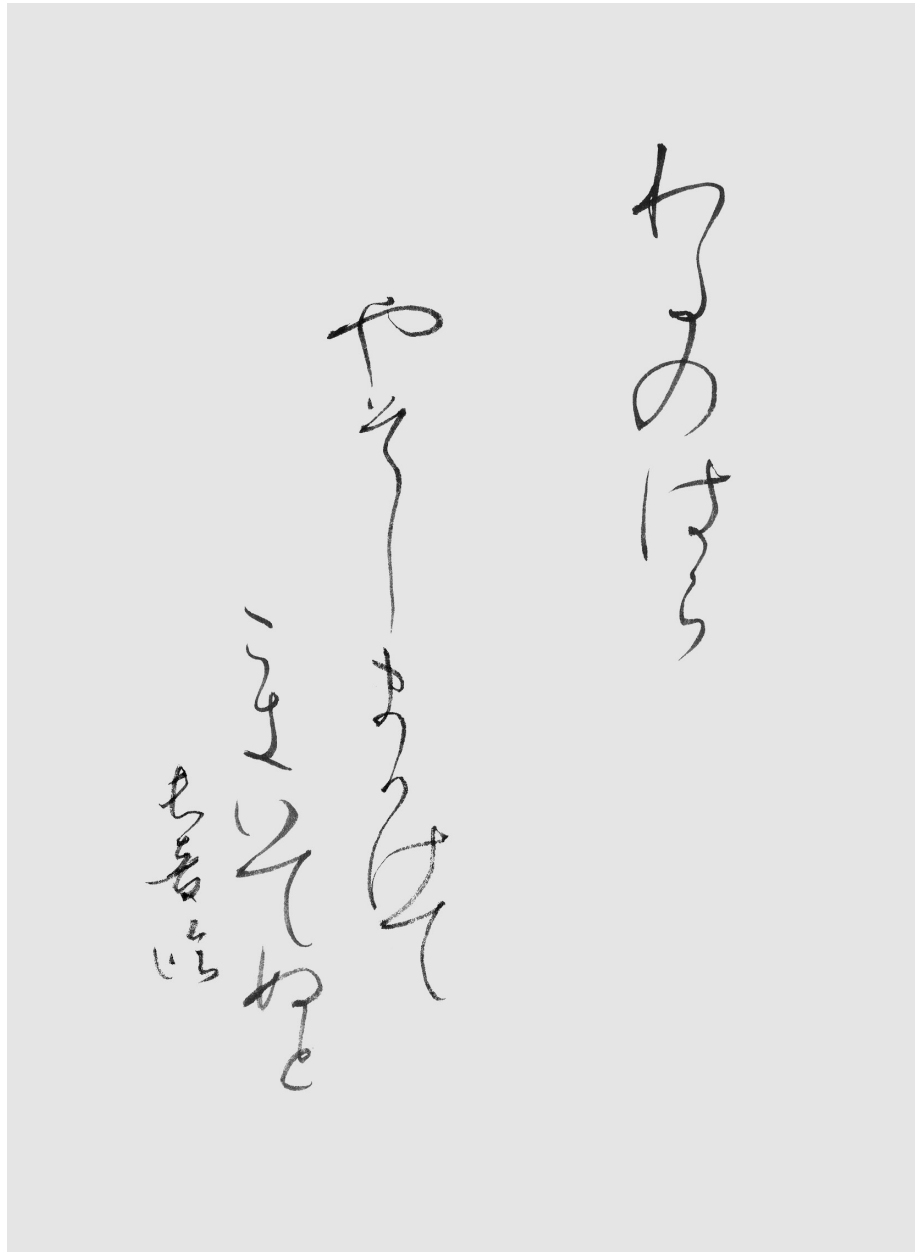
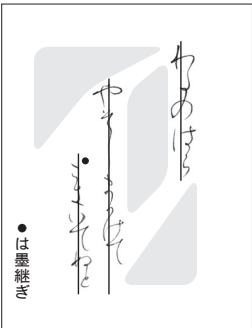


高・大・一般 (仮名有級・準初段まで)

辻 眞智子



〈釈文〉わたのはらやすしまかけてこぎいでぬと (人にはつげよあまのつりぶね)



粘葉本和漢朗詠集⑥ (伝 藤原行成筆)

〈釈文〉わたのはらやすしまかけてこぎいでぬと (人にはつげよあまのつりぶね)

〈歌意〉私は波路はるかに、多くの島々を漕ぎ過ぎて行っ
てしまったのだと (都へ便りある人に告げて下さい。海
上へ舟を浮べて釣りをする漁師たちよ)。

「粘葉本和漢朗詠集」について

藤原行成は、道長の信用を得て能書家として活躍し、
和漢書道の完成者として最上の地位を得ました。その行
成筆と伝えられる書の中でも「粘葉本和漢朗詠集」は、
偏った癖がなく大らかに品よく整い、潤いのある情趣溢
れる詩歌集です。

今月の学び

この歌は「行旅」と題され、百人一首にも選ばれてい
る小野篁の有名な歌です。

(1)上の句を散らし書きにする。

・行頭と行間に変化を付ける。

一行目から順に三行目へと、行頭を下げていく。

(2)一行目と二行目の間の余白をたっぷり空ける。

(3)各行の行脈に留意する (行の中心移動と文字の大きさに留意)。

(4)二・三・四文字連綿を学ぶ (連綿体でのバランスに留意)。

・下の文字が大きく右に寄る。

・上下の文字の中心がほぼ同じ。

・二文字目が右へ中心移動し、三文字目で戻る。

・二文字目から徐々に右へ中心移動する。

・墨継ぎは●印 (三行目、二) である。

(6)変体仮名を覚える。

多↓た 可↓か 支↓き

※提出用紙のサイズは半紙½ (縦) (次号予告の半紙½ (縦) についての頁を参照)。用紙は白色の仮名用に書く (改良半紙・ロール紙等、漢字用半紙使用は不可)。

高・大・一般 漢字

新(10級から五段までは作品用紙として画仙紙ハッ切り(68cm×17.5cm)又は、画仙紙半切(136cm×35cm)の出品。
六段から八段までは作品用紙として従来通り画仙紙半切(136cm×35cm)のみの出品です。落款は、「〇書」(よみかき)。

杉崎 光波



〈釈文〉白狐向月號山風 秋寒掃雲留碧空

〈出典〉谿晚涼 唐 李賀

〈訳〉白狐 月に向かいて山風に号び

秋寒 雲を掃いて碧空を留む

〈学習のポイント〉

緊張感のある凛とした印象を大事にしつつ、軽快で躍動的な運筆を心掛けました。字形のとらえ方が特徴的な張瑞圖の書を参考にし、何カ所か意識的に「対比」を取り入れています。露鋒による入筆で線が浅くならないよう送筆部を中鋒にし、さまざまに「対比」を楽しんで書いてみてください。

〈対比について〉

*二行書きで文字の大小や潤濁の変化を加える場合、大きさや墨量が同程度の文字を横に並べないよう注意します。

*文字相互の「対比」に注目してみましょう。

▽上下に並ぶ字

「月」「號」|| 縦方向の画の傾き。

「山」「風」、「掃」「雲」|| 「反り」の方向。

▽左右に並ぶ字★

曲線部分|| 「號」は細く右下を膨らませ、「留」では上方を太くした。

直線部分|| 左右の太さを変えた(◎)。

〈注〉「號」「寒」「留」「碧」に斜画があるため、全体の収まりを考え、「空」の最終画を長くし、「波」は右下方向への動きを強めた(※)。

※張瑞圖詩卷三種 書跡名品叢刊(二玄社)

